

【2月・0歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

	Aさん(高月齢/男児/活発) (1歳10カ月/4月生まれ)	Bさん(高月齢/女児/活発) (1歳9カ月/5月生まれ)	Cさん(高月齢/男児/静か) (1歳8カ月/6月生まれ)	Dさん(高月齢/女児/静か) (1歳7カ月/7月生まれ)
子どもの姿	1. 便器に座ることはできるが、すぐに降りてしまい、排尿はなかった。 2. 積み木やブロック遊びでは、友だちが近づいてくると玩具を取られると感じ、「だめ！」と怒る姿が見られた。 3. 先月から徐々に鼻水の量が少なくなり、機嫌や食欲が戻ってきた。	1. オムツに排尿したことを言葉やしぐさで保育者に知らせたり、トイレで排尿できる回数が増えた。 2. 気候が良く体調が良い日には、園庭に出て遊具や探索を楽しんだ。 3. 咳と鼻水がひどく戸外へ出られなかった日は、低月齢児たちと室内で活動し、積極的に関わろうとする姿が見られた。		
ねらい	1. 嫌がらずに便器に座る 2. 安心して好きな遊びを楽しむ	1. トイレで排尿する心地良さを感じる 2. 全身を動かす心地よさを味わう		
内容	1. 保育者に誘われてトイレに行き、見守られる中で安心して便器に座る。 2. 保育者と一緒に、積み木やブロック遊びを十分に楽しむ。	1. 保育者の声かけで尿意に気づいたり、オムツが濡れていないタイミングでトイレに行き、便器に座って排尿する。 2. 室内での運動遊びを通じて、のぼる、おりる、またぐ、バランスを取って歩くなど、様々な動きを楽しむ。		
環境構成 配慮 援助	1. リラックスして便器に座ることができるように、手をつないだり、一緒に数を数えたり、歌を歌いながら見守る。排尿しなくても、「トイレに座れたね」「また行こうね」と伝えて次につながるようにしたり、絵本を通じてトイレに興味を持てるようにする。 2. 積み木やブロックの数を十分に用意し、個々に落ち着いて遊べる環境を整える。保育者も一緒に遊んで楽しさを共有し、本児が友だちの接近を気にするときは不安に寄り添い、「取らないから大丈夫だよ」と言葉をかけて安心感を得られるようにしたり、友だちと心地よく関わることができるように仲立ちする。	1. オムツが濡れていないタイミングや、尿意を感じているサインを見逃さず、「ちっちゃが出そうかな」「トイレに行ってみようか?」と誘い、尿意を感じられるように関わる。排尿できたときはその姿を大いに認め、排尿しなくても「トイレに座れたね、また行こうね」といった言葉がけを行い、次への意欲を育てる。 2. 牛乳パックで手作りした低い台を利用し、一列に並べて一本橋を作ったり、間隔を開けて並べ、のぼりおりやまたぐ動きを楽しむことができるようにする。また、バランスを取って歩く面白さを味わえるように、マットの下にクッションなどを入れたてこぼこ道を用意し、他児との衝突や転倒に注意しながら見守る。		
食事	(幼児食) ・日によって食欲にムラがあるので、食が進まないときは本児の様子を観察しながら必要に応じて介助し、体調不良や疲れ、眠気が見られるときは、完食にこだわらず切り上げる。 ・汁物を飲む際にお椀を傾けすぎてこぼすことがあるので、後ろからさりげなく手を支え、こぼさずに飲む感覚を味わえるように援助する。	(幼児食) ・スプーンを使ってほとんどこぼさずに食べる姿を見守る中で、さりげなく下握りができるように手を添える。 ・苦手な食材に手をつけようとしないうちは、「先生と一緒に食べてみようか」「一緒にすすって食べようか」といった提案をして、本児が「食べてみようかな」と思えるきっかけを作る。		
家庭の連携	3. 本調子に戻ってきたが、風邪をひきやすい季節が続くので、引き続き感染症の予防を呼びかけつつ、体調の変化が見られたときは情報を共有する。 ・靴や服のサイズが小さくなっていたら保護者に伝え、体に合い、自分で着脱しやすい素材の物を準備してもらえようにする。	3. 低月齢児に対して優しく接する姿を通じて、本児の心身の成長を丁寧に伝えていく。 ・育児の悩みに対して、必要に応じて個別の面談の時間を設けて保護者の話をじっくりと聞き、不安を軽減できるように関わる。		
評価・反省	1. 保育者や友だちと一緒に数を数えることを喜び、便器に座っていられた時間が延びた。排尿はないが、引き続き無理強いしないように配慮しながら見守る。 2. 友だちの接近を気にする姿が徐々に減り、集中して遊べていた。安心して遊ぶ中では友だちと簡単なやり取りをする姿が見られたので、子ども同士の関わりを見守りながら仲立ちしていく。	1. 保育者の声かけだけでなく、食前や午睡明けなど、生活の流れの中でトイレに行く時排尿できる姿が増えた。「出た!」という本児の喜びに共感し、さらに自信を持てるように関わる。 2. マットのでこぼこ道では、バランスを崩しても手をついてすぐに立ち上がり、くり返し歩いて楽しんでた。戸外遊びの機会が増えてくるので、遊具で遊んだり、土の上や砂利道など様々な場所で歩く経験ができるように計画し、運動機能の発達を促していく。		

無料版: 2名分
↓
有料版の
"おまもりプラス"
は12名分が
閲覧&DL可能!

子どもの姿の1, 2は『内容/ねらい/環境構成・配慮・援助』、3は『家庭との連携』と運動しています。

敬称と性別表記: ウェブサイトに当社方針を記載しております。

ほいくのおまもり **Plus!**

ダウンロードのお礼とおまもりプラスについて

この度は個人案をダウンロードいただき、ありがとうございます！

ほいくのおまもりプラスでは、を**性別／タイプ別／月齢別の12名分の個人案（0,1,2歳児）**をご用意しています。更に・・・

- **無料版の2倍の月案文例**
- 丸1ヶ月分の月～金の全ての週案
- 毎月45個の製作型紙
- 毎月2つのスケッチブックシアター
- その他、会員だけのコンテンツ

これだけ揃って、**月額980円+税**の大特価！気になる人は、以下からおまもりプラスのサービスを確かめてみてくださいね。



文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー&ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。